

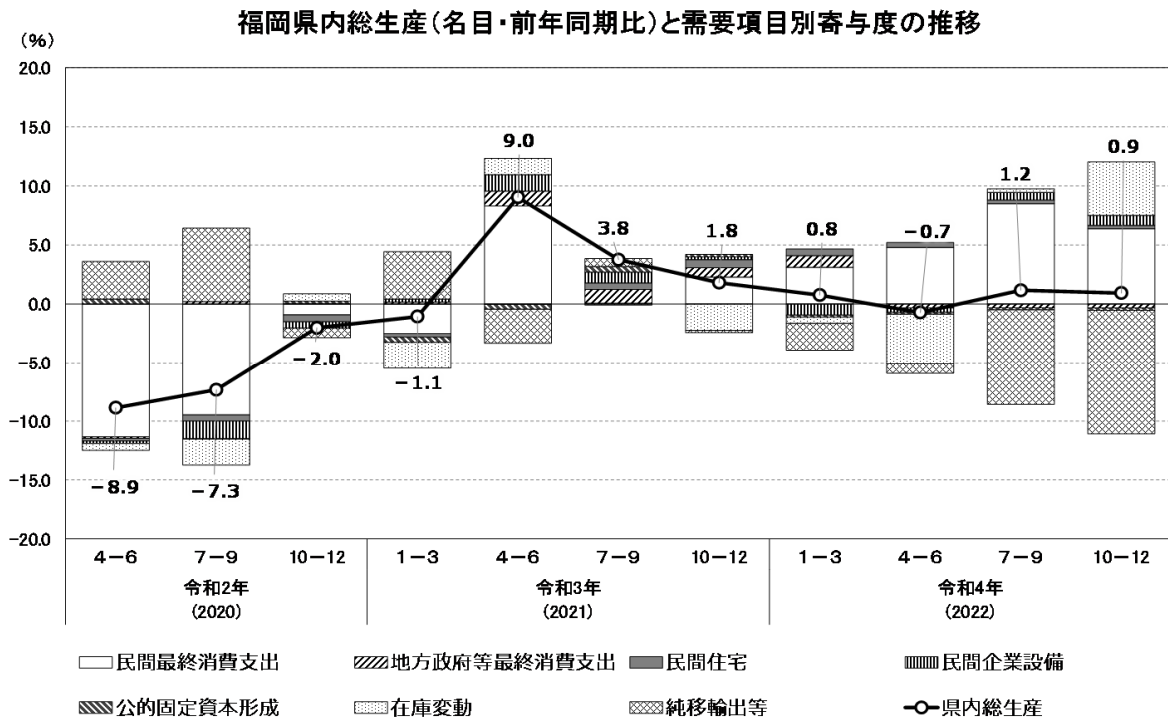


福岡県県民経済計算四半期別速報 〔2022年10-12月期〕

～統計分析手法による県内総生産（支出側）の四半期別早期推計～

【概要】

2022年10～12月期の県内総生産（名目）は、前年同期比+0.9%となった。
なお、実質（季節調整系列）の前期比は-1.0%（年率換算-3.8%、3四半期ぶりのマイナス）であった。



増加した項目			減少した項目		
	前年同期比	寄与度		前年同期比	寄与度
民間最終消費支出	10.6	6.4	純移輸出等	***	-10.6
在庫変動	***	4.5	地方政府等最終消費支出	-1.7	-0.3
民間企業設備	5.8	0.8	公的固定資本形成	-4.2	-0.2
民間住宅	7.0	0.3			

御利用にあたって

福岡県県民経済計算四半期別速報は、県内総生産（支出側）とその需要項目を、統計分析手法を用いて、試算として四半期単位に分割・推計を行ったものです。年度推計値とは推計方法が異なりますので、差異が生じることがあります。

また、当面の間、随時、推計方法を変更することがあります。

このほか、以下のことに御注意のうえ、参考として御利用ください。

1 推計方法の概要

- (1) 支出側と密接な関係があり、早期に得られる統計データなどを基礎資料として、項目別に回帰分析等により名目値を推計します。
- (2) 平成27年暦年を基準としたデフレーター（連鎖方式）を用いて、名目値から実質値を求めます（実質原系列）。
- (3) 季節調整は、米国商務省センサス局法のX-12-ARIMAを用いて行います。

2 利用上の注意事項

- (1) 遡及改訂について
推計値は、各種基礎資料の最新値の反映や、季節調整の再計算に伴って過去に遡って毎回修正されますので、最新値を御参照ください。
- (2) 四半期推計の年度計について
年度推計値が未公表の令和2度の年度値は、四半期別速報の年度合計を掲載していません。
今後、公表される年度推計値との間に差異が生じることがあります。
- (3) 統計表中の計数について
単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。
- (4) 統計表中の符合等の用法について
「-」 ……負数
「0.0」 ……表章単位に満たないもの（小数点第2位を四捨五入した場合に0.1に満たないもの）
「***」 ……当該数値がないまたは記入を要しないもの
- (5) その他
概念的には、内閣府経済社会総合研究所が公表している「四半期別GDP速報」(QE : Quarterly Estimates of GDP) に相当しますが、推計方法等が異なるため、比較に際しては留意してください。

3 用語解説

統計分析手法…推計したい項目を、それと関係が深いデータを使用して、直近の推計を行う手法のこと。本推計では、需要項目の推計に回帰分析、総生産額の推計に主成分回帰分析の手法を用いている。

名目……………その期間の時価による値のこと。

実質……………名目値から物価変動の影響を取り除いた値のこと。

デフレーター…物価変動の影響を除いて実質的な経済成長を計測するために用いる指標。

原系列……………季節調整していない原数値のこと。

季節調整系列…季節的要因（曜日配列、慣習等）の影響を除去した値のこと。

<需要項目別内容>

民間最終消費支出……………家庭などが商品やサービスの購入に支払った費用

地方政府等最終消費支出…地方自治体等が支払った給与や保険給付などの支出

民間住宅投資……………持家や貸家などの工事費

民間企業設備投資……………民間企業の機械設備や建物などに対する支出

在庫変動……………民間企業・公的企業などの在庫品の増減額

公的固定資本形成……………公営住宅などの工事費、公営企業の設備投資への支出、下水道などの公共施設に対する工事費の合計

純移輸出等……………財貨・サービスの県外への移輸出から移輸入を引いたもの及び統計上の不突合（推計方法等の違いにより県内総生産（生産側）と県内総生産（支出側）に生じる差の整合性を図るためのもの）

【統計表】

福岡県内総生産（支出側）（名目・四半期）

（上段：実額（億円）、下段：前年同期比（%））

年・四半期 項目	令和2年 (2020)			令和3年 (2021)			令和4年 (2022)				
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
民間最終消費支出	24,069 (-18.9)	26,034 (-15.2)	29,767 (-1.5)	26,861 (-4.4)	27,803 (15.5)	26,066 (0.1)	30,920 (3.9)	28,381 (5.7)	30,153 (8.5)	30,103 (15.5)	34,192 (10.6)
地方政府等 最終消費支出	8,809 (-0.7)	7,704 (1.4)	9,069 (0.4)	7,980 (1.0)	9,377 (6.4)	8,240 (7.0)	9,466 (4.4)	8,460 (6.0)	9,218 (-1.7)	8,099 (-1.7)	9,306 (-1.7)
民間住宅	1,875 (-5.9)	1,839 (-12.5)	1,880 (-13.9)	1,868 (-6.9)	1,860 (-0.8)	2,092 (13.8)	2,233 (18.8)	2,144 (14.8)	2,068 (11.2)	2,240 (7.1)	2,388 (7.0)
民間企業設備	6,753 (-1.5)	7,068 (-9.4)	7,344 (-3.7)	8,473 (1.6)	7,379 (9.3)	7,482 (5.8)	7,455 (1.5)	8,025 (-5.3)	7,193 (-2.5)	7,781 (4.0)	7,888 (5.8)
公的固定資本形成	1,877 (13.0)	1,871 (-1.5)	2,511 (3.8)	2,852 (-7.3)	1,697 (-9.6)	2,095 (12.0)	2,625 (4.5)	2,759 (-3.3)	1,625 (-4.2)	2,007 (-4.2)	2,515 (-4.2)
在庫変動	293 ***	-819 ***	95 ***	-979 ***	917 ***	-858 ***	-1,029 ***	-1,236 ***	-1,138 ***	-713 ***	1,285 ***
純移輸出等	1,321 ***	2,052 ***	-226 ***	1,642 ***	33 ***	2,355 ***	-316 ***	536 ***	-400 ***	-1,488 ***	-5,737 ***
県内総生産	44,997 (-8.9)	45,750 (-7.3)	50,440 (-2.0)	48,697 (-1.1)	49,066 (9.0)	47,472 (3.8)	51,355 (1.8)	49,070 (0.8)	48,719 (-0.7)	48,029 (1.2)	51,837 (0.9)

福岡県内総生産（支出側）（名目・年度、実質・年度、実質・四半期）

（上段：実額（億円）、下段：前年度比、前期比（%））

年・四半期 項目	名目・年度		実質・年度		実質・四半期・季節調整系列						
	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和3年 (2021)			令和4年 (2022)			
	四半期計	四半期計	四半期計	四半期計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
民間最終消費支出	106,731 (-10.1)	113,170 (6.0)	105,154 (-10.1)	110,302 (4.9)	112,237 (4.1)	104,693 (-6.7)	112,137 (7.1)	111,742 (-0.4)	118,603 (6.1)	117,606 (-0.8)	119,579 (1.7)
地方政府等 最終消費支出	33,562 (0.5)	35,544 (5.9)	33,595 (1.4)	35,192 (4.8)	34,600 (3.7)	34,901 (0.9)	34,429 (-1.4)	34,680 (0.7)	33,120 (-4.5)	33,256 (0.4)	32,729 (-1.6)
民間住宅	7,463 (-9.9)	8,329 (11.6)	7,080 (-10.4)	7,351 (3.8)	7,629 (4.5)	8,042 (5.4)	8,211 (2.1)	8,172 (-0.5)	8,223 (0.6)	8,309 (1.0)	8,404 (1.1)
民間企業設備	29,638 (-3.2)	30,341 (2.4)	29,432 (-2.8)	29,371 (-0.2)	29,091 (-0.1)	27,116 (-6.8)	26,106 (-3.7)	25,164 (-3.6)	26,018 (3.4)	26,662 (2.5)	26,702 (0.1)
公的固定資本形成	9,112 (0.6)	9,176 (0.7)	8,703 (0.4)	8,489 (-2.5)	8,825 (-2.0)	9,168 (3.9)	9,082 (-0.9)	8,480 (-6.6)	8,229 (-3.0)	8,359 (1.6)	8,278 (-1.0)
在庫変動	-1,410 ***	-2,205 ***	-606 ***	-490 ***	3,793 ***	-503 ***	-3,222 ***	-2,037 ***	-3,123 ***	333 ***	4,886 ***
純移輸出等	4,789 ***	2,608 ***	4,213 ***	5,447 ***	-650 ***	8,729 ***	7,163 ***	6,956 ***	3,521 ***	784 ***	-7,126 ***
県内総生産	189,884 (-4.8)	196,962 (3.7)	186,344 (-5.6)	193,480 (3.8)	195,524 (1.7)	192,145 (-1.7)	193,905 (0.9)	193,158 (-0.4)	194,591 (0.7)	195,310 (0.4)	193,451 (-1.0)

※実質・四半期・季節調整系列の額は、年度との比較がしやすいように4倍している。

※ 次の時系列データ（平成23年以降）を「福岡県オープンデータサイト」に掲載しています。

- 名目・原系列（実数、前年同期比、前年同期比寄与度）
- 名目・季節調整系列（実数、前期比、前期比寄与度、前期比（年率換算）、前期比（年率換算）寄与度）
- 実質・原系列（実数、前年同期比、前年同期比寄与度）
- 実質・季節調整系列（実数、前期比、前期比寄与度、前期比（年率換算）、前期比（年率換算）寄与度）

※ 実質・四半期・季節調整系列について、集計に誤りがありましたので修正しています。

※ 福岡県オープンデータサイト <https://www.open-governmentdata.org/fukuoka-pref/>
トップ画面の「キーワード」欄で、「県民経済 四半期」と検索してください。

(参考)

P 2 「1 推計方法の概要」 (1) の、基礎資料及び回帰等の分析方法は次のとおりです。

1 需要項目の推計

需要項目	回帰式 $y = \text{切片} + \text{係数} \times x_1 (+ \text{係数} \times x_2)$ 下段の<>内はt値、観測数: N=9 (H23~R01)	説明変数に用いた主な資料
民間最終消費支出	$y = -113,994.8 + 2.597 \cdot x_1 + 0.253 \cdot x_2$ R2: 0.987 <6.870> <3.814>	x1: 一世帯当たり消費支出×世帯数 (億円) (総務省「家計調査」、県「人口と世帯推計」) x2: 国の民間最終消費支出 (10億円) (内閣府「国民経済計算」)
地方政府等最終消費支出	$y = -2,989.1 + 1.263 \cdot x_1 + 1.107 \cdot x_2$ R2: 0.978 <3.228> <14.266>	x1: 県・市町村 (一組等含む) の普通会計のPersonnel費+物件費 (億円) (総務省「地方財政状況調査」決算、予算) x2: 医療保険・介護保険による現物給付 (億円) (厚生労働省「国民健康保険事業年報」「後期高齢者医療事業年報」「介護保険事業年報」等)
公的固定資本形成	$y = 82.1 + 1.615 \cdot x_1 + 0.849 \cdot x_2$ R2: 0.937 <7.684> <2.147>	x1: 県・市町村 (一組等含む) の投資的経費 (普通建設事業費・災害復旧費の補助・単独) (億円) (総務省「地方財政状況調査」、予算) x2: 九州地方整備局の福岡県内直轄事業の負担基本額 (億円) (九州地方整備局「事業計画通知」)
民間住宅	$y = 715.8 + 0.883 \cdot x_1$ R2: 0.955 <13.010>	x1: 国の民間住宅投資×建設出来高 (居住用の福岡県割合) (億円) (内閣府「国民経済計算」、国土交通省「建設総合統計」)
民間企業設備	$y = 3,434.6 + 1.030 \cdot x_1 + 0.518 \cdot x_2$ R2: 0.999 <16.061> <2.089>	x1: その他の建物・構築物+機械・設備 (製造業+製造業以外) 投資額 (億円) (内閣府「国民経済計算」・福岡県の工業・国土交通省「建設総合統計」) x2: R & D+ソフト投資額 (億円) (内閣府「国民経済計算」)
在庫変動	直接推計	国の在庫変動を除く産出額に対する在庫残高の比率を、県の在庫変動除く産出額にかけて県の在庫残高とし、前期との差で在庫変動とする。
純移輸出	$y = 6,493.7 + 0.212 \cdot x_1 + 0.777 \cdot x_2$ R2: 0.853 <4.703> <4.960>	x1: 国の純輸出 (10億円) (内閣府「国民経済計算」) x2: 製造業・卸売小売業の純移輸出額 (億円) (県「福岡県の工業」、「鉱工業指数」、「産業連関表」日本銀行「産出・投入物価」、財務省「法人企業統計」経済産業省「商業動態統計」)

2 総生産額の推計

年度確報値を目的変数とし、上記で得られた需要項目を主成分分析して得られた主成分得点の年度合計を説明変数として、回帰分析を行った結果、以下の切片及び回帰係数の式が得られました。これに、主成分得点を代入して総生産額を推計しました。

補正R2	0.982
------	-------

	四半期計	四半期計
切片	191,652.7	
第1	1,014.2	<7.909>
第2	525.2	<0.727>
第3	454.9	<0.915>
第4	1,546.4	<5.936>
第5	127.3	<0.202>

福岡県県民経済計算四半期別速報 [2022年10-12月期]

福岡県企画・地域振興部調査統計課 (分析第二班)
 代表 (092) 651-1111 (内線) 2767
 直通 (092) 643-3185
 FAX (092) 643-3192
 e-mail chosa@pref.fukuoka.lg.jp
 福岡県オープンデータサイト
<https://www.open-governmentdata.org/fukuoka-pref/>